

空間・モノ・システム・地域の領域において、 時代や環境に沿ったサステナブルに触れる「上回転祭」の開催 ～各領域の専門家を招いたトーク・廃棄パン等のアップサイクルWS、未利用魚メニューなど～

上回転祭

-サステナブルわっしょいフェスティバル-

トークイベント、ワークショップ、展示販売、フードドリンクなど
上回転研究所による持続可能性を“わっしょい”と考える2日間

2022.12.10/11 11:00 - 19:00
アップサイクルセンターmadanasaso

主催：株式会社On-Co

（株）FabCafe Nagoya 代表取締役 矢橋 友宏
（株）船場 執行役員 神戸 暁
ハーチ（株） 代表取締役 加藤 佑
（株）ロフトワーク コミュニティデザイナー 加藤 翼
Studio On Site 代表 大野 宏
（株）CACTUS TOKYO 代表取締役 熊谷 溪司

関わる人の主体性向上をミッションに掲げる株式会社On-Co(本社:三重県桑名市、以下On-Co)が運営するアップサイクルコミュニティ「上回転研究所」は、名古屋市にて12月10日(土)・11日(日)の2日間にわたり「上回転祭」を開催します。

上回転祭では、**4つ領域(空間・モノ・システム・地域)からサステナブルに触れられるよう**、各領域の専門家を招いたトークや、廃棄パン・廃棄石膏を使ったアップサイクル体験、未利用魚を活用した飲食等を展開します。

社会や地球環境との共生がより一層と求められる中、サステナブルやSDGsを特別なものとしてではなく、「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活に浸透させるきっかけを創出していきます。

SDGs認知率は4年で6倍に

人間・社会・地球環境の持続可能な発展が問われる時代。SDGsの達成やサステナブルな社会の実現に向けて、さまざまな企業が取り組んでおり、持続可能なライフスタイルに対する生活者の意識が高まってきました。

電通が2018年より調査している「SDGsに関する生活者調査」によると、**2022年度のSDGs認知率は86.0%**で、2018年の第1回調査で出た14.8%から**約6倍**であることがわかりました。またSDGsを認知している人のうち、**実践意欲が高いのは36.9%**で約4割というデータが出ています。※電通 第5回「SDGsに関する生活者調査」より

「自分だったら何ができるか」へ

サステナブルな社会に向けて、**一人一人の「行動」が次の課題**となる中、上回転研究所では「上回転祭」と称し、廃棄パンや石膏、コーヒーかすなど身近なものをアップサイクルするワークショップや、未利用魚を取り入れた飲食など、**サステナブルを気軽に愉しめる体験コンテンツ**を揃えたイベントを開催すること致しました。

また環境・社会・経済のサステナビリティに関わる多種多様な課題に対して、「場づくり・モノづくり・システムづくり・地域づくり」4つの領域で取り組む専門家をゲストに招き、「自分だったら何ができるか」を考えるきっかけづくりの場を目指します。

上回転祭-サステナブルわっしょいフェスティバル-

日時:2022年12月10(土)11:00~18:00、12月11日(日)13:00~19:00

場所:madanasaso(愛知県名古屋市西区新道1丁目13-15)※名古屋駅から徒歩約15分 | 浅間町駅から徒歩約8分

料金:無料(飲食やワークショップなどは別途必要) | 申込:<https://sustaina-fes.peatix.com/>

ワークショップ

・コーヒーかすと牛乳による「カフェオレベース」でコースターづくり

- ・廃棄石膏ボードを使った「resecco」でタイルづくり
- ・廃棄パンを使った「ペーぱん」でオリジナル紙素材づくり など

カフェオレベース体験



コーヒーのカスと牛乳から作った素材「カフェオレベース」でコースターを作るワークショップになります。

resecco体験



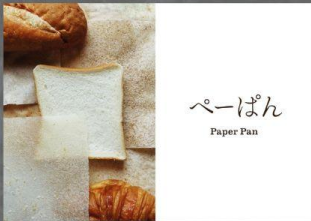
廃棄石膏ボードから生まれた素材「resecco」でタイルを作るワークショップになります。

tsunagu 古材古道具販売



おうちで眠っている『木』に、新たな可能性を。不要になった古材や古道具を、リユース・リペア・アップサイクルをしています。 インスタ: @tsunagu_kozai

ペーぱん体験



廃棄されるパンから生まれた紙素材「ペーぱん」を制作するワークショップになります。 インスタ@sayuri_okazaki69

PreciousPlasticNagoyaのアップサイクリングの体験



廃棄プラスチックの蓋から自分の唯一のパートナーのコースターを作る体験になります。 インスタ@jarvissan25

「17の問い」 Produced by 大森美瑠



大森美瑠/アートディレクター・コピーライター・絵本作家。2019年社会課題に対してアートによる解決を提案する「ボンアート株式会社」を設立。

販売・出展

- ・未利用魚を活用した丘漁師食堂 など

CACTUSTOKYO 商品展示販売



サボテン由来のレザー素材を用いたプロダクトの販売を行なっている「CACTUS TOKYO」による展示販売になります。 インスタ@cactus_tokyo

我楽 GARAKU



ガラクタ×アート 怪モノ画家「星と木しと」と細密画家「山口昇悟」がタグを組んだアートユニット廃棄される様々なモノに「我儘に、楽しく」絵を描いています。

土壁モジュール3DP出力展示



デジタルツールを用いた建築を行う「ND3M」が空き家の土壁を使って新しい建築モジュールを出力します。 インスタ@nagoya.d3m

なめることから 展示



対象地域のテクスチャーと廃棄の飴から再構成したキャンディーを展示販売。舐めるといふチープな行為から嗜みつけることで地域性を感じることができるのか試みる。

丘漁師食堂



陸から海の課題を考える丘漁師組合の未利用魚・低利用魚を使ったフード販売になります。 インスタ@okaryoushi

バンブースツール展示



BUNKAI PROJECTさんが放置竹林で手に入れた竹と建築家大野宏さんが作ったツールを使った椅子などの展示になります。 インスタ@bunkai_project

ゲストトーク ※プロフィール詳細: <https://onl.tw/Jt6Hq8M>

【Day1】12月10日(土)

11:00~13:00 第一部「サステナブルな場づくりとは？」

株式会社船場 執行役員 | 神戸 暁さん

株式会社ロフトワーク | コミュニティデザイナー | 加藤 翼さん



15:00~17:00 第二部「サステナブルなプロダクトの未来とは？」

NPO法人Studio On Site 代表 | 大野 宏さん

株式会社CACTUS TOKYO 代表取締役 | 熊谷 溪司 さん



【Day2】12月11日(日)

13:00~15:00 第三部「サステナブルな社会システムの未来とは？」

株式会社FabCafe Nagoya 代表取締役 | 株式会社ロフトワーク 取締役 | 矢橋 友宏さん

ハーチ株式会社 代表取締役 | 加藤 佑さん



17:00~19:00 第四部「サステナブルな地域の未来とは？」

Pizza4P's | 久保田 和也さん

デザイナー | 岡崎さゆりさん



今後の展開

毎月アップサイクルWSを開催しています。また2023年3月には、上回転研究所始めサステナブルなモノづくり拠点「[madanasaso](#)」が完成予定(現在[クラウドファンディング](#)を実施中)です。

上回転研究所とは

上回転研究所とは、ゴミを新たな素材へと変える工程に触れてもらい、ゴミへの価値観を換えるきっかけを創出するアップサイクルコミュニティです。素材デザイナー村上結輝を中心に、廃棄問題に対して、意匠性のある新素材開発という手法を軸に、一人一人が廃棄物の分別を徹底かつ減量化する努力を行い、最終的にはゴミ箱が不要になる社会を目指して取り組んでいます。

madanasaso(マダナサソウ)とは

世の中にまだ「ない」ものを生み出そうと志を持つ人の拠点です。上回転研究所の考え方を軸に、同じ志を持つ多様な人が切磋琢磨することで、既存の価値観にとらわれない発想を具現化する場を目指しています。<https://camp-fire.jp/projects/view/626710#menu>

株式会社On-Co

代表:水谷 岳史/藤田 恭兵 | 創業:2019年3月 | 所在地:三重県桑名市西別所1375 | HP:<https://on-co.jp/>

ミッションは関わる人々の主体性を向上させ、挑戦が溢れる面白い世の中をつくること。さかさま不動産や丘漁師組合などを展開

本件に関するお問い合わせ | 窓口:福田 | TEL:080-5984-7800 | Mail:support@on-co.co